

# SANWA ブルートゥースレーザーマウス 取扱説明書

取扱説明書



最初に  
ご確認ください

- MA-BTLS6**
- マウス本体 …………… 1台
  - USB充電ケーブル …… 1本
  - 単四充電電池 …………… 2本
  - 取扱説明書 …………… 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新情報は、当社Web (<http://www.sanwa.co.jp/>) をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。  
本取組の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

## 目次

- 1 マウスの接続手順
- 2 特長
- 3 警告
- 4 健康に関する注意
- 5 対応機種・対応OS
- 6 マウスの準備(電池の充電)
- 7 マウスの接続(電池の充電)
- 8 ペアリング操作 Windows Vista・XP(SP2)の場合
- 9 IFT BlueSoleilを使用する場合
- 10 WIDCOMM BTWを使用する場合
- 11 Mac OS Xの場合
- 12 TOSHIBA Softを使用する場合
- 13 本製品の使用方法
- 14 「故障かな……」と思ったら5
- 15 保証規定

## マウスの接続手順

対応OSを確認します。  
→P.4

マウスに付属の  
充電電池を入れ、  
電源スイッチを  
ONにします。  
→P.4

マウスを充電します。  
パソコンマウスを  
USB充電ケーブルで  
接続します。  
→P.5

コンピュータの電源を入れ、  
Windowsを起動します。  
Bluetoothの  
ペアリング操作を行います。  
→P.6~

詳細は各ページをご覧ください。

## 特長

このたびはブルートゥースレーザーマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品はBluetooth規格に対応し、Bluetooth内蔵のパソコンにレシーバーなしで接続ができます。2.4GHz RF列列伝送で電波障害を受けにくく、半径約10mの範囲で通信が可能です。

本製品はレーザーセンサーエンジンを使用しており、滑らかな白色のデスクの上でもマウスパッドを使わず、ストロークよく使うことができます。

USBポートから充電可能で、電池交換不要の工場設計。Bluetoothがリンクした状態で、電池切れの際にもケーブルで充電しながらマウスが使えます。

※ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

## 警告

**■パソコンの電源について**  
本製品は、パソコンの電源がオフの状態でも動作します。電源がオフの状態でも、FCC/CE規格の電波放射レベルが許容範囲を超えてしまう場合があります。電源がオフの状態でも、FCC/CE規格の電波放射レベルが許容範囲を超えてしまう場合があります。電源がオフの状態でも、FCC/CE規格の電波放射レベルが許容範囲を超えてしまう場合があります。

ご使用のコンピュータが要領書の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることでより要領書が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータが要領書の原因となっているかどうかは、以下の手順をお試しください。

- 手元またはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しにくい位置を探してみてください。
- 手元またはラジオから離れた場所（無線LAN機器など）にコンピュータを接続してください。
- 手元またはラジオとは別の電源供給線にあるコンピュータにコンピュータを接続してください。
- 対応しないテレビラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

## 注意

- 製品おまけのソフトウェアを使用したことにより生じた動作障害やデータ損失などの損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- 製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 製品は一般的な職場や家庭での使用を目的としています。本製品に設置されている全ての動作に責任を負いません。また、製品は、すべての責任を負いません。
- 無線LANやBluetoothの接続には、無線LANやBluetoothの規格に準拠した機器を使用してください。
- 無線LANやBluetoothの接続には、無線LANやBluetoothの規格に準拠した機器を使用してください。
- 無線LANやBluetoothの接続には、無線LANやBluetoothの規格に準拠した機器を使用してください。
- 無線LANやBluetoothの接続には、無線LANやBluetoothの規格に準拠した機器を使用してください。
- 無線LANやBluetoothの接続には、無線LANやBluetoothの規格に準拠した機器を使用してください。

## Bluetoothについて

- 本製品のBluetooth機能は、産業・科学・医用無線機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体通信用の無線LAN(免許不要無線LAN)及び特定小電力無線LAN(免許不要無線LAN)の規格に準拠して運用されています。
- 本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 製品は一般的な職場や家庭での使用を目的としています。本製品に設置されている全ての動作に責任を負いません。また、製品は、すべての責任を負いません。
- 無線LANやBluetoothの接続には、無線LANやBluetoothの規格に準拠した機器を使用してください。
- 無線LANやBluetoothの接続には、無線LANやBluetoothの規格に準拠した機器を使用してください。
- 無線LANやBluetoothの接続には、無線LANやBluetoothの規格に準拠した機器を使用してください。
- 無線LANやBluetoothの接続には、無線LANやBluetoothの規格に準拠した機器を使用してください。
- 無線LANやBluetoothの接続には、無線LANやBluetoothの規格に準拠した機器を使用してください。

## 良好な通信のために

- 無線LANやBluetoothの接続には、無線LANやBluetoothの規格に準拠した機器を使用してください。

## 健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じる場合があります。

その痛みや痺れを繰り返している場合、場合によっては深刻な障害を招く可能性があります。マウスやキーボードを操作中に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。

また、日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩などに負担が掛からないよう心がけてください。

## 対応機種・対応OS

### 対応機種

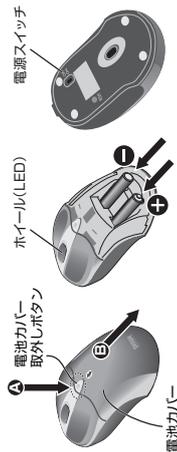
- Windows搭載パソコン 各社DOS/V(パソコン) NEC PC98/NXシリーズ
- Apple iMac、iBook、Power Mac G5、G4、G3シリーズ、Mac mini、Macbook、Macbook Pro、Mac Pro
- ※Bluetoothモジュールを内蔵している機種
- ※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種(USB充電ケーブル接続用)

### 対応OS

- Windows Vista・XP(SP2)・2000
- Mac OS X(10.2以降)
- ※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、iTunes、TextEdit及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。ホイールボタン押下による動作はサポートしません。
- ※機種により対応できないものもあります。
- ※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれメーカーの登録商標・商標です。

## マウスの準備(電池の入れ方、電源のON・OFF)

1. 電池カバー-取外しボタンをA方向に押しながら、電池カバーをB方向にスライドして、取外します。
  2. 付属の単四乾電池をマウスに入れます。※正しい極性で入れてください。
  3. 電池カバー-を、取外したときと逆の手順で閉じます。
  4. マウス裏面の電源スイッチをONにします。
- ※マウスを長時間使用しない場合や携帯する際に光センサーが点灯しているとき電池を消耗しますので、電源をOFFにすることを勧めます。
- ※電池には、付属の単四乾電池をお使いください。アルカリ/マンガン乾電池を使用すると、マウス等を破損する原因になります。



4

## マウスの接続(電池の充電)

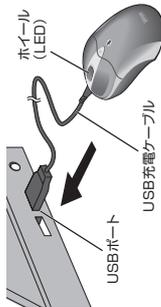
マウスに電池を入れたら、パソコンのUSBポートとマウスを付属のUSB充電ケーブルで接続し、充電します。

1. マウスにUSB充電ケーブルを接続します。
2. パソコンのUSBポートにUSB充電ケーブルを接続します。
3. 電池の充電が開始されます。充電中、LEDは赤く点灯します。
4. 必要時は、環境によって異なりますが、電池が完全に空の場合、6時間以上必要です。(マウスを使用しながら充電を行う場合は、8時間以上必要です。)
5. 使用中にマウスのLEDが赤く点滅したら、電池残量が少なくなっています。速やかに充電を開始してください。

※パソコンのUSBポートを電源供給口として使用しますので、充電中は電源を供給できなくなる状態になっておいてください。(スタンバイモードや休止モードでUSBポートから電源供給が行われない場合、マウスの充電はできませんのでご注意ください。)

※マウスの電源がOFFの状態でも、充電は可能です。

※パソコンに接続したマウスを使用中でも充電はできますが、充電時間が長くなります。



マウスの充電が完了したら、電源スイッチをONにして、ペアリング操作(マウスとパソコンを互いに認識させる作業)を行ってください。

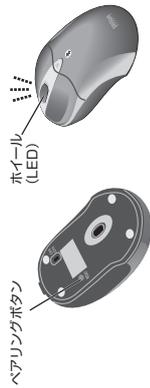


ペアリング操作の方法は、次のページから説明いたします。 □□□□ →

5

## ペアリング操作 Windows Vista・XP(SP2)の場合

1. マウス裏面のペアリングボタンを押すと、ホイール内蔵のLEDが点滅します。



2. コン트롤パネル(スタートを開き、Bluetoothデバイス)をダブルクリックします。



3. 「追加」をクリックしてください。



4. 「セットアップを完了し、デバイスが容易可能になりました」を選択し、「次へ」をクリックします。



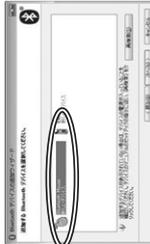
6

## ペアリング操作 Windows Vista・XP(SP2)の場合 (続き)

5. Bluetoothデバイスの追加ウィザード画面が表示されます。



6. [Bluetooth Mouse]を選択し、「次へ」をクリックしてください。



7. 「リズキーを使用しない」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



8. Windows「Bluetooth Mouse」ごとの接続を自動的に開始します。



7

**ペアリング操作 Windows Vista・XP (SP2) の場合 (続き)**



9. ドライバがインストールされ、通信できる状態になりました。



**ペアリング操作 IVT BlueSoleil を使用する場合**



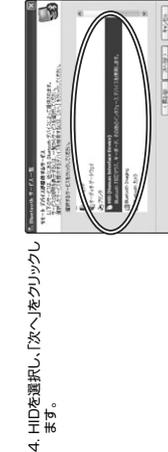
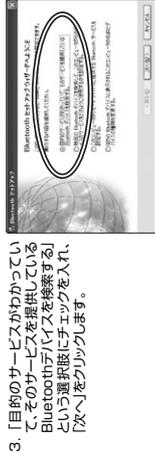
**ペアリング操作 IVT BlueSoleil を使用する場合 (続き)**



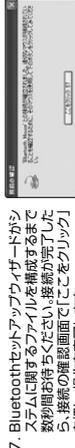
**ペアリング操作 WIDCOMM BTW を使用する場合**



**ペアリング操作 WIDCOMM BTW を使用する場合 (続き)**



**ペアリング操作 WIDCOMM BTW を使用する場合 (続き)**



7. Bluetoothセットアップウィザードが、ステップに開するファイルを作成するまで数秒間待ちください。接続が完了したら、接続の確認画面で「ここをクリック」を押し、操作を完了します。

**ペアリング操作 Mac OS X の場合**



### ペアリング操作 Mac OS Xの場合 (続き)

- Bluetooth Mouse が身についたら、[続ける] をクリックして次のステップに進みます。
- [マウスを登録しています] というメッセージが表示されたら、[続ける] をクリックしてください。
- 設定完了です。Bluetooth マウスが使用可能になりました。  
一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。

### ペアリング操作 TOSHIBA Soft を使用する場合

以下の説明では、英語(中国語)版の画面写真を使用しています。  
日本語版をお使いの場合は、日本語表示となります。

- マウス裏面のペアリングボタンを押し、ポールのLEDが点滅している状態にします。
- タスクトレイの Bluetooth アイコンをダブルクリックしてください。



### ペアリング操作 TOSHIBA Soft を使用する場合 (続き)

- 設定画面が表示されます。  
[New Connection] ボタンを押し、設定を開始してください。  
※パソコンの種類によって表示が異なる場合があります。
- [Express Model] をチェックして、次の画面に進みます。
- デバイスが自動的に検知されます。
- [Bluetooth Mouse] を選択し、次のステップに進みます。

### ペアリング操作 TOSHIBA Soft を使用する場合 (続き)

- 接続が開始されます。
- 画面の指示にしたがい、次のステップに進んでください。
- 接続が確立しました。接続名は任意で変更可能です。

### ペアリング操作 TOSHIBA Soft を使用する場合 (続き)

- 設定完了です。
- Bluetooth マウスとパソコンの接続が確立し、接続を示すアイコンが表示されます。  
一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。

